

命を守るために 献血にご協力を！

日々、病気やけがなどで輸血を必要としている多くの患者さんがいます。

ただ、輸血用血液製剤には有効期限があり、採血後4週間しかもちません。必要な患者さんにいきわたる量を保つために、常に多くの人の献血協力が必要です。

尊い命を守るため、ご協力をお願いします。

と き 3月25日(火)

と ころ 伯耆町農村環境改善センター 9:30～11:15
大山リハビリテーション病院 12:00～13:00

対 象 者 体重50kg以上、69歳までの人
※65歳以上の人は、60～64歳の間に献血経験がある場合に限ります。
※協力者の安全を第一に、当日受付で医師が総合的に判断し、献血をご遠慮いただく場合があります。

薬の服用 ○当日服用していても献血できる薬
血圧・高脂血症（コレステロール）・アレルギーの薬・尿酸値を下げる薬
漢方薬・一般的な胃腸薬・ビタミン剤やミネラルなどのサプリメント
○前日までの服用なら献血できる薬
頭痛薬・市販薬の風邪薬

問い合わせ先

健康対策課 健康増進室 ☎ 0859-68-5536



◀鳥取県赤十字
血液センター
ホームページ

原子力防災について

伯耆町は島根原子力発電所から30km以上離れているためUPZ（緊急防護措置を準備する区域）圏外ですが、万が一原子力災害が発生しその影響が町内にも届く可能性がある場合の対応をお知らせします。

※原子力発電所の状況等によってUPZ圏外にも影響が及ぶ事態が想定される場合には、原子力規制委員会が屋内退避エリアの拡大を判断する場合があります。

◆屋内退避の指示が出た場合

- ①住宅などの屋内に入る
- ②外出は控える
- ③ドアや窓を閉め、外気を取り込むエアコンなどの機器は止める
- ④窓などの隙間に目張りをする
- ⑤屋内にいる場合は、窓から離れる
- ⑥屋外から帰った場合は、着替え、手洗い、うがいをする
- ⑦食品にはフタやラップをする
- ⑧テレビやラジオ、インターネット、防災無線などで正確な情報を確認する

問い合わせ先

総務課 ☎ 0859-68-3111

◆万が一、避難指示が出た場合

- ①鳥取県や伯耆町から対象地域や避難先などを防災無線やテレビ、緊急速報エリアメール（伯耆町内にいる人の携帯電話へ強制的に送るメール）などでお知らせします。
- ②鳥取県や伯耆町からの指示に従い、落ち着いて行動しましょう。



◀鳥取県原子力防災
ホームページ

鳥取県原子力防災▶
ハンドブック



※本広報誌の折り込みに鳥取県が発行した「令和7年版鳥取県原子力防災ハンドブック」を入れてありますのでぜひご覧ください。